

## 福井県屋外広告物審議会からの答申（概要）

### 1. 景観と屋外広告物に関する啓発と規制見直しの周知について

- ・ 屋外広告物を設置する場合、広告主の意向により規模や色彩、デザインなどが左右されるほか、屋外広告物に求められる役割が従来よりも多様化しており、規制見直しに当たっては、広告主や屋外広告業者に対し、景観や屋外広告物に関する啓発と規制見直しの周知が必要
- ・ 県民一人ひとりが県民の共有財産である景観について誇りを持ち、景観と屋外広告物について関心を持って見ていくことが重要であるため、広く県民に対しても啓発と規制見直しの周知が必要

### 2. 各種施策・計画との連携による効果的な景観形成について

- ・ 県都福井市のリニューアル、交通安全や教育・文化振興、市町の景観まちづくりなど各施策や計画と連携し、総合的かつ効果的な施策の推進を図ること

### 3. 既存広告物に関する対応について

- ・ 既存不適格広告物については、地域特性に応じた景観形成の重要性や規制見直しによる社会的影響を考慮し、十分な経過措置を検討
- ・ 良好な景観形成の推進および設置者の経済的負担を考慮し、新基準に適合させるための撤去や改修等の経費を支援する制度を検討
- ・ 支援制度の内容については、既存不適格広告物の経過措置期間内で段階的に補助率や補助限度額を設定するなど、早期に既存不適格広告物の撤去や改修等を促し、良好な景観形成の推進につながるよう工夫
- ・ また、既存不適格広告物の撤去や改修等は、市町の良好な景観形成に寄与するため、市町とも協力

### 4. 良好な広告景観づくりについて

- ・ 許可地域は経済活動に配慮すべき地域であり、既存不適格広告物について経過措置期間内に新基準への適合を求めることは社会的影響が大きいことから、早期に新基準への適合を図る設置者については、経費を支援するなど良好な景観づくりに向けた誘導方法を検討

### 5. 屋外広告物のデザインについて

- ・ 屋外広告物と周辺景観との調和という観点から、色彩や素材、字体や表示面における文字の割合などのデザインも検討すべき重要な要素
- ・ 今回の規制見直しにおいて、新たに色彩規制を導入しているが、字体や表示面における文字の割合などは、規制対象にすることが困難だと思われるため、「福井県屋外広告物ガイドライン」や「ふるさと福井景観広告賞」

などを活用し、景観向上につながるようなデザインに誘導していくことが必要